

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部県民センター	氏名	齋藤 晃大
派遣先 団体名	邑智郡田舎体験協議会		
<p>① 研修の日時 平成24年9月27日(木)～30日(日)</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 広島市立伴南小学校5年生の民泊体験プログラムの支援 9月27日(木)9:00～17:00 ・三瓶登山の支援 ・2日目の竹細工体験(マイ箸・椀づくり)のための小刀等の準備 9月28日(金)9:30～16:00 ・竹細工体験の支援(小刀等の安全監視・手作り方法の指導等) ・素麺流し体験の支援 ・座禅体験の支援 ・民泊体験(対面式立会) 9月29日(土)13:00～19:00 ・稲刈り体験、民泊体験中の児童の見回り、写真撮影 9月30日(日)13:00～15:00 ・お別れ会(立会、会場撤去)</p> <p>③ 研修の感想 国・県主導で邑智郡三町が取り組んできている教育ツーリズム事業の実施状況を実際に現場スタッフとして、その実情をみる事ができた。今年で4回目の受入とあって、学校側も受入側も慣れてきた感はあるが、町民の負担も大きく今後の実施体制に向けて課題も見えた。 実施当初の国や県の金銭的支援がなくなり、主導した側の責任も感じられた。行政の施策が、その立場によって年々変わることは仕方ないことだが、現場とのコミュニケーションは継続しながら意見を聞き、支援を行うことは県の責務と感じた。 若い県職員が、研修生という立場ではなく応援に来ている姿を見て心強く感じた。</p> <p>④ その他特記事項 本研修は、県職員と市町村職員、団体職員等と一緒に仕事をしていく中で、お互いを知るいい取り組みと思う。ただし、今の制度であれば、参加者が少ないからといって関係課職員を研修に参加させるものでもないと思う。 新規採用から何年以内には1回参加させるなど若い職員さんには、経験を義務付ける研修として位置付けてもいいのではないかと感じた。</p>			

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。